

令和5年度 徳島県立富岡西高等学校 第1回学校運営協議会 議事録

- 1 日時 令和5年7月11日（火） 午後3時から午後4時50分まで
- 2 場所 富岡西高等学校 創立百周年記念館
- 3 会次第
 - (1) 学校長 開会あいさつ
 - (2) 自己紹介
 - ・学校運営協議会委員
 - ・本校職員
 - (3) 学校運営協議会制度について
 - (4) 協議
 - ①会長、副会長の選出について
会長 庄野 公一 様
副会長 新見 敏彦 学校長
 - ②学校運営方針について
新見校長が、学校運営方針について説明。
 - ③教育課程・主な学校行事について
四宮教務課長が本校の教育課程と主な学校行事について説明。昨年度、オンラインで実施したり規模を縮小したりした行事を、徐々に見直していく予定。
 - ④進路指導について
長瀬進路指導課長が、令和4年度卒業生合格状況の資料をもとに、進路指導について説明。
 - ⑤SSH事業、地域との連携について
SSH事業について、中村SSH課長が説明。SAの取組や台湾との交流について田中国際課長が説明。
 - ⑥県総体・四国総体の結果について
県総体・四国総体の結果について、宮本教頭が説明。
 - ⑦長寿命化工事の進捗状況について
長寿命化工事の進捗状況について、小綿事務課長が説明。

⑧各委員からの助言等について

(ア)SSHというのは、SSH独自の授業を設定しているのか、それとも各教科の授業の中に方法論として取り入れているのか。

【回答】

理数科には、「課題研究」(旧課程)、「理数探究」(新課程)という専門科目があり、「総合的な探究の時間」の履修に替えることができる。本校では、「課題研究」(旧課程)、「理数探究」(新課程)を「SS」(SCOPE Scinence)という学校設定科目で代替している。普通科では、「総合的な探究の時間」を「SA」(SCOPE Agora)で代替しており、その時間を中心に探究活動に取り組んでいる。その時間以外にも、起業家や企業・大学関係者から学ぶ「トップリダーセミナー」や最先端の科学技術を学ぶ「スペシャリストアカデミー」等の特設で開設もしている。また、SSHの指定をきっかけとして、STEAM教育の考え方で各教科の疑問や問題に対して根拠や裏付けに基づいて、検証していくといった科学的能力の育成を目指した授業を各教科で取り組んでおり、授業参観(公開)に臨んでいる。

(イ)SAをグループで取り組むことにしたのは、課題研究のレベル向上を図るためによいと思う。小学校への出前授業など、ユニークな活動を行っているので、ぜひ新聞などで紹介してもらい、富西の活動を広報していくとよいと思う。

(ウ)教員の意識の高さが生徒たちにも浸透していると感じる。昨年度の活動報告を聞いて、子どもたちの主体性を育む活動に力を入れていることは素晴らしいと思う。

(エ)「京都大学見学」など、子どもたちにとって刺激になる活動を取り入れてはどうか。

(オ)広報は大切である。富西のホームページをチェックしているが、部活動の更新が少ない。大会での活躍を新聞で見るが、それがホームページにアップされていないのはもったいないと思う。

(カ)文武両道の「文」の部分を大切にしてほしい。部活動の顧問は、試験期間中に生徒が十分に勉強できる時間を確保するなど、テストに真剣に臨む環境を整えてほしい。

(キ)学校運営方針が素晴らしいメッセージなので、それを軸にしてチーム富西で一丸となって頑張ってもらいたい。

(ク)アクティブラーニングの目的はどこにあるのか。大学進学率アップにつながるのか。アクティブラーニングが、社会に出てからの生きる力につながるの理解できるが、学力向上とのバランスをどうとっていくのか。

【回答】

今までの授業は、どちらかといえば教師が生徒に対し、一方的に知識を教え込む授業を

行ってきた。今回の新学習指導要領では、生徒が主体的に多様な人々と協力して問題発見し答えをみいだしていく能動的な学び、すなわち、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行うことで、生徒に質の高い学びを提供し、生涯にわたって能動的に学び続けることができる生徒を育成することが求められている。本校でも、手段として、ICT を積極的に活用し、「グループワーク」、「ディスカッション」、「ディベート」、「体験学習」などを組み込んだ授業実践を行っている。生徒からは、一斉授業より個々の先生方が工夫を凝らした授業は、分かりやすく、周りの人と共有しながら授業を受けることで、授業に臨む態度や気持ちが能動的になったと授業アンケートからも分かります。ただ、学力の向上には、家庭学習の習慣化が欠かせず、生徒の授業での学びが、アクティブラーニングの本来の目的である、「学び続ける家庭での学び」につながっているかは、まちまちである。「授業改善」＋「家庭学習の習慣化」で学力向上に更につなげていきたい。また、大学への合格などの進学実績は、あくまでも外からの評価にすぎない。最終的には生徒が自分の思うような進路を見つけられることが大切。生徒たちがいろいろなツールや情報を活用する力を付けるための支援をすることも教師の大切な役割と考えている。

(ケ) 保護者の話題に、制服のことがよく出てくる。伝統のある制服であるし、変更賛否両論あるのは分かるが、徳島市内の高校で制服を刷新し、今春の入学者が大幅に増えたと聞いている。新しい制服に替えることによって富岡西高校への志願者が増えることも期待できるので、検討してほしい。

【回答】

タイミングが大切と考えている。富西がいい方向に向かう、いろいろな要素がいくつか出てきて、その中で、思い切って制服を替えるのも選択肢としてはあると思う。

(コ) 時代も価値観も変わってきている。いつまでも進路実績を看板に掲げるのはどうなのか。時代が学校に求めるものも変わってきているので、学校も模索していくことが必要。しかし、時代が変わっても子どもと向き合うことは変わらず大切にしてほしい。

(5) その他

(6) 校長 お礼あいさつ